

APP ブレーキキャリパーキット [DC5 用]
価格: 17万6400円

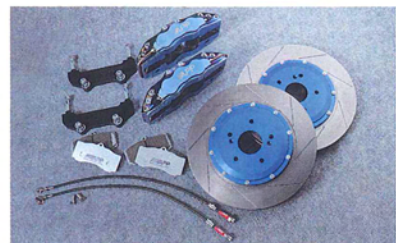
純正17インチホイールおよび純正ローターに装着できるアルミ鍛造4POTキャリパー。純正ブレンボにダメージが蓄積してきたとき、鍛造の純正ブレンボより安価に交換できるのが魅力だ。チタンのようなグラデーションがかかったチタンカラー(左)は+2万1000円。同じく純正ローター対応で、EP3用(純正ホイールには非対応)、およびFN2用(20mmのワイドトレッドスペーサー&ローダウンにより純正ホイール装着可)も設定されている。

APP 製アルミ鍛造
キャリパーの特徴



軽量かつ剛性に優れたアルミ鍛造製法を採用し、過酷な状況下でも確かな制動力を発揮してくれる。車種に合わせて4ピストンと6ピストンの形状を設定。各ピストンにはダストシールを備え、ストリートユースでのメンテナンス性を向上させている。

アルミ製軽量 2 ピースローター



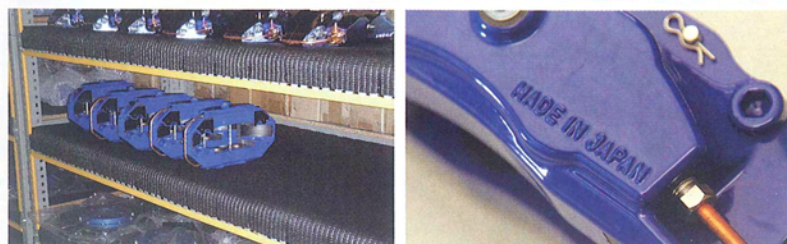
ローター表面には8本ストレート形状のスリットが設けられ、ブレーキパッドから発生するガスを効率よく排出し、フェードを防ぐ。ベンチレーテッドフィン(冷却性に優れたラウンド形状)とし、それぞれのフィンを短く、角度をつけて配置する事で放熱性を向上。熱を均等に分散し、クラックなどのトラブルを防いでいる。

ステン
メッシュホース

熱や膨張に強いPTFEホースにカーボンブラックのコーティングを施し、泥跳ねなどからホースを保護します。フィッティング(取付金具)には錆に強いステンレス材を採用している。



メイド・イン・ジャパンへのこだわり



東南アジア製の安価なアフターパーツが増えているなか、クオリティ優先のAPPはあくまで「メイド・イン・ジャパン」。塗装もスプレータイプではなく、粉体塗装で塗膜の厚みが全然違う。配管も外出しタイプで耐熱性も純正ブレンボを凌駕する。効きは当然、効き味にこだわった製品で、純正ホイール好きのユーザーに安心のストップパワーを届ける。

このパッドの特徴は、とにかく安価だということ。AP・50000というノンアスベストタイプのパッドは、なんと前後それぞれ5000円。さらに同じくノンアスベストで、最近需要が高いダストレスタイプのAP・8000でも各8000円である。最上級のカーボンメタルのKG-1115でもたったの1万5000円と、いずれも相場の約半額だ。もちろんいずれもメイド・イン・ジャパンで、品質や、効き、寿命は他社のものには引けを取らない。一番気になるフィリングの部分も、APPの主力製品がブレーキホースと一緒にもあり、ブレーキの踏みに応じて素直に反応するコントロール性を何より重視。いわゆる「価格なり」というイメージではまったくなく、優れた製品になっている。これは一度試してみる価値はあるはずだ。12年にブレキのリフレッシュ、アップグレードを考えている人は、ステンメッシュホースだけでなく、ブレーキのトータルブランドのひとつとして、APPを意識し直してみてもどうだろうか。



制動性能×フィーリング×低価格
新たなブレーキの常識へ、APPの挑戦

APP ブレーキキャリパーキット

- 6POT キャリパー+φ355 ローター (価格: 35万4900円) ※
- 6POT キャリパー+φ345 ローター (価格: 34万4400円) ※
- 4POT キャリパー+φ332 ローター (価格: 31万2900円) ※
- 4POT キャリパー+φ300 ローター (価格: 24万9900円) ※
- リア4POT キャリパー+φ345 ローター (価格: 34万4400円) ※

アルミ鍛造キャリパーを中心に、軽量2ピースローター/高剛性ブラケット/ステンメッシュブレーキホース/ブレーキパッドによるキット。※印のキットには標準カラーのブルに加え、限定チタンカラーの設定あり(+2万1000円)。

老舗のブレーキホースブランドAPPが、純国産にこだわってキャリパー、パッドを展開中。重要保安品のブレーキだけに、安全と信頼性だけは譲れないというのがポリシーで、企業努力で低価格化も実現。ステンメッシュホースのNo.1ブランドの名にかけて、フィーリングを最優先。2012年の注目株を取り上げる。

TEXT: Ryuta FUJITA (藤田電太)
取材協力: APP (TEL: 042-513-3307) <http://www.app-top.jp/>

純正ブレンボより安くても高品質。クルマの動力性能が高まるにつれ、その重要性が増してきているブレーキシステム。一昔前の純正ブレーキはとにかくブアで、アフターパーツは二にも二にも効き優先。しかし、ここ最近のブレーキは、効くこと自体はすでに前提で、その効き方、つまりフィーリングにより重点がシフトしてきている。そして、その「効き方」にどこよりも早くこだわっていたブランドこそ、このAPPなのだ。

APPは、今から20年以上も前から、ブレーキのフィーリングを大きく左右するブレーキホースに注目。アメリカの航空機用配管メーカーとして実績のあったアルズ製のステンメッシュホースを日本に導入した。ホースを輸入してそのまま卸すだけでなく、APPの工場(車種)ごとに長さを最適化し、専用の取り付け金具までカシメてから出荷することで手軽さと高い安全性を確保し、車検対応ホースの先駆けとなった。

「ご存じのとおり、ステンメッシュホースは純正のゴムホースに比べ、ホースの膨張が圧倒的に少ないので、ペダルタッチがダイレクトになり、ペダルストロークが少なく済むようになり。さらに、そうしたフィーリング面だけでなく、耐圧力やホースと金具のフィッティングがしっかりしているのも、安全マージンが増すということも、強調しておきたい部分です。ホンダ車ですと、例えばDC5などは劣化した純正品が、サーキットのハードブレーキでホースが抜けたという事例もありました。そういう意味でもスポーツ走行を楽しむ方には、ステンメッシュホースをおすすめしています」

(APP 安田さん)

ちなみに、近年APPが扱うホースは、アルズに変わりにギリギリのグッドリッジ製を採用(金具はすべて国内で自

産を誇る。さらにオプションとして、塗装というよりメッキに近い、イオンプレートイングによって色付けされたチタンカラーのキャリパーも限定ラインナップされている。

ブレーキキャリパーも、交換サイクルは長いにせよ、消耗品であることには変わりがないので、純正ブレンボの寿命が来たら、このAPPキャリパーを検討してみる価値はあるだろう。

もうひとつの消耗品、ブレーキパッド。そしてブレーキホースやキャリパーに比べると、知名度はやや劣るかもしれないが、APPには「スフィード」というブランドのブレーキパッドが用意されている。

このパッドの特徴は、とにかく安価だということ。AP・50000というノンアスベストタイプのパッドは、なんと前後それぞれ5000円。さらに同じくノンアスベストで、最近需要が高いダストレスタイプのAP・8000でも各8000円である。最上級のカーボンメタルのKG-1115でもたったの1万5000円と、いずれも相場の約半額だ。もちろんいずれもメイド・イン・ジャパンで、品質や、効き、寿命は他社のものには引けを取らない。一番気になるフィリングの部分も、APPの主力製品がブレーキホースと一緒にもあり、ブレーキの踏みに応じて素直に反応するコントロール性を何より重視。いわゆる「価格なり」というイメージではまったくなく、優れた製品になっている。これは一度試してみる価値はあるはずだ。12年にブレキのリフレッシュ、アップグレードを考えている人は、ステンメッシュホースだけでなく、ブレーキのトータルブランドのひとつとして、APPを意識し直してみてもどうだろうか。

社生産。重要保安部品であるために、コストよりもクオリティ第一の姿勢を貫いている。

そしてクオリティを最優先するというポリシーは、4年前からリリースされているオリジナルブレーキキャリパーにおいても同様だ。DC5用の純正ローター対応のキャリパーキットが用意されているので、ホンダ車ユーザーは注目している人も多いだろうが、これももったいとしたメイド・イン・ジャパンの極めて信頼性が高い製品。それでいてDC5純正ブレンボよりも2割近くリーズナブルな価格設定になっている。

一例をあげれば、純正ブレンボの本体がアルミ鍛造であるのに対し、APPのキャリパーはアルミ鍛造。軽量でより剛性の高いキャリパーに仕上がっているのも、長期間使用していても、キャリパーが開いてくるというトラブルが、純正以上に発生しにくい。

また、純正ブレンボの場合、サーキットなどでハードなブレーキングをしているうちに、熱で塗装が変色し、自慢の「赤」が汚くなっていくことが避けられないが、APPのキャリパーならば、純正ホイールの塗装などに用いられている粉体塗装という工法で、美しいブルーに塗られているので、高温による退色に対して圧倒的なタフネス



APP
安田昌史さん

当社のホースは全部実車でも装着確認、一本一本耐圧テストを行ってから出荷しています。また車高に合わせて最適な長さにも調整できますので、お気軽にご相談ください。